



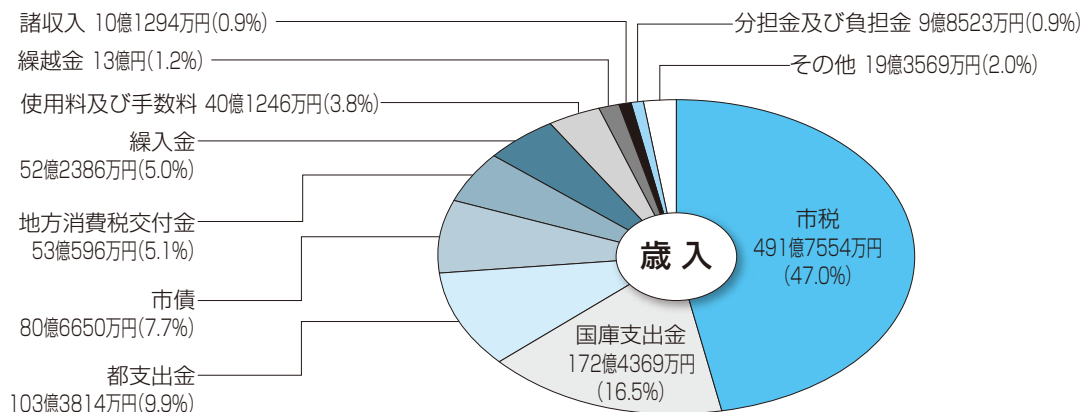
平成29年府中市議会第1回定例会報告

2月20日(月)～3月16日(木)の25日間の会期で平成29年府中市議会第1回定例会(3月議会)が開催されました。本定例会では平成28年度の補正予算、平成29年度一般会計予算等が審議されました。また、一般質問は21人28件が発言されました。

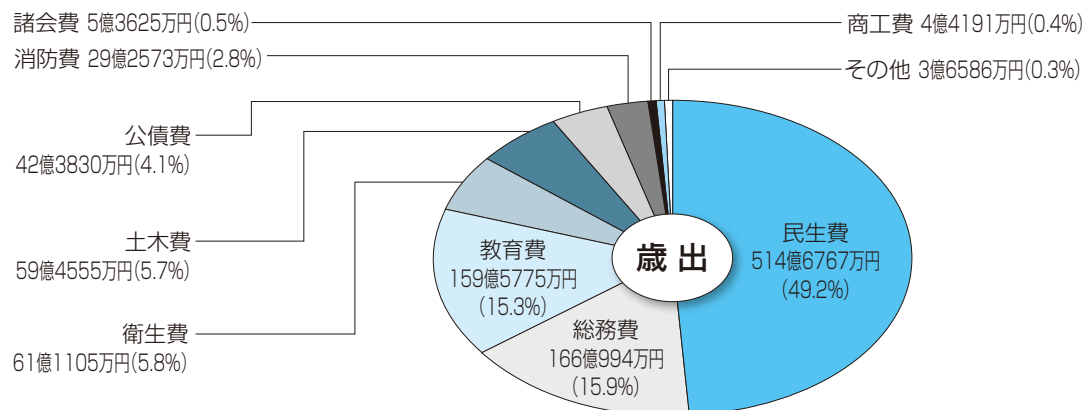
平成29年度一般会計予算特別委員会

平成29年度一般会計予算について、予算特別委員会が5日間に渡り開催され歳入・歳出が審議されました。最終的には、3月16日(木)の本会議にて、賛成討論・反対討論がなされ、起立多数で可決しました。今回、清水勝は賛成討論を述べました。

歳入 / 1,046億円



歳出 / 1,046億円



【一般会計予算の規模】

歳入では、納税義務者数の増加や個人所得の増加傾向により市税が増となっているほか、投資的事業の増加に伴い、基金繰入金や市債が増となりました。

歳出では、前期基本計画の期間内で最大数とな

る新規・レベルアップ事業を実施するとともに、扶助費や特別会計繰出金などの社会保障経費が増となったほか、大規模事業や公共施設の老朽化対策による投資的経費が増加し、予算額は過去最大の1,046億円(+3.6%)となりました。

【平成29年度当初予算編成の特徴】

平成29年度は、第6次府中市総合計画前期基本計画の最終年度となり、これまで培ってきた経験を基に市政運営を継続しながら、前例踏襲からの脱却と新たな取り組みにチャレンジする意識を持ち、目指す都市像である「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、市民との協働の下、様々な施策を展開していく必要があります。また、これまでの取り組みを一過性のものとすることなく、まちの成熟と将来の発展に向けて、平成30年度からの後期基本計画の着実なスタートにつなげていく必要があります。

そのため、当初予算編成に当たっては、この府中で誰もが安心して過ごせるとともに、ふるさと府中への愛着を深められるよう、交通インフラ・道路

基盤の充実やインフラマネジメントの推進、健康長寿社会の実現と夢と希望にあふれる次世代の育成などの【①くらしの「安定」とまちへの「愛着」に関する施策】、府中駅南口再開発事業の完了を迎え、新たなにぎわいの創出による地域経済の活性化を目指し、府中の魅力をより一層高めるための【②まちの「活力」と「飛躍」に関する施策】、地域におけるつながりや支え合う仕組みづくりを発展させるための【③市民との「対話」と「協働」に関する施策】を充実させていきます。

また、行財政改革推進プランに掲げる各取り組みも計画の総仕上げの時期を迎えることから、各施策が現状に合ったものとなるよう、間断なく事業の見直しに取り組み、健全財政の維持に努めました。

平成29年度一般会計予算の質疑

清水勝は平成29年度一般会計予算特別委員会では以下の質疑を行いました。

歳入

1

国庫支出金の土木費国庫補助金にある橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費の補助金の内容と事業内容について

2

都支出金の都補助金、総務費都補助金のうち、スポーツ振興等事業費補助金の内容と事業内容について

3

諸収入の雑入にある多摩・島しょ広域連携活動助成金収入の内容と事業内容について

1

総務費の総務管理費、企画費のうち、ラグビーのまち府中推進事業費、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業費と推進会議運営費の平成28年度実績と平成29年度の事業予算内訳、事業内容について

2

総務費の交通安全対策費の交通安全施設管理費の管理委託料で自転車ナビマークの施工予算で平成28年度末までの市の施工分と国、都の施工分の場所、距離の実績と総額について、また、平成29年度の予定と予算について

3

衛生費、公害対策費が28年度と比較し、大きく減額されているのは？また、その中で環境保全活動費の平成28年度実績と平成29年度の事業予算内訳、事業内容について

4

土木費、緑化対策費が大きく増となっている。その中で、街路樹管理費で、樹木伐採は3年に一度、植栽などは毎年一回の計画で管理していると聞いているが、これも平成28年度実績と平成29年度の事業予算内訳、事業内容について

5

教育費、教育指導費の教科等研究事業費のうち、推進校補助金の平成28年度実績と平成29年度の事業予算内訳、事業内容について

平成29年度予算賛否討論

清水勝は本会議最終日に市議会市民フォーラムを代表して賛成討論を行いました。

平成29年度予算編成は「選択と集中」の指向をより一層明確にし、政策会議で選択された施策への財源への重点配分を行うほか、事務事業の単位等でのシーリング率を定めた重点方式による査定を行うなど、市民生活を守るため、きめ細やかな予算編成が行われたものと確信しております。

その結果、一般会計の予算額は、1046億円となり、平成28年度比較では36億円、3.6%の増となり、過去最大との説明がありました。

平成29年度予算の特徴としては、第6次府中市総合計画前期基本計画の最終年度となることから、前例踏襲からの脱却と新たな取り組みにチャレンジする意識を持ち、目指す都市像である「みんなで創る 笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向け、市民との協働の下、様々な施策を展開していく必要があり、これまでの取り組みを一過性のものとするのではなく、まちの成熟と将来の発

展に向けて、平成30年度からの後期基本計画の着実なスタートにつなげていく必要があるとの考えを踏まえた中で、高野市長は、平成29年度の市政運営に当たり、「安定と愛着」「活力と飛躍」「対話と協働」の3つのテーマを積極的に進める運営方針を掲げました。

主な事業施策の中には、市民フォーラムとしても会派要望した196項のうち、87項目が予算化され実施される他、実施に向け検討中の32項目を含めると実に6割強におよぶ事項について取り上げていただいたことは、大きく評価できるものと考えます。

全体では新規49事業、レベルアップ70事業となり、まさに市民のために資する積極的な施策展開をする予算編成となっていることを高く評価いたします。

さらに力強い市政運営をお願いし、平成29年度一般会計予算に対する賛成討論といたします。

市民協働によるまちづくりについて

清水勝は第一回定例会で「市民協働によるまちづくりについて」と題し、一般質問を行いました。

Q 府中市市民協働推進行動計画は、サブタイトルに「輝く府中の未来へ、市民協働でスクラム&トライ」を付して、地域課題の解決に向けて取り組みを行っているかとあります。一般市民との協働から大学・学生との協働、企業との協働推進等を目標に取り組みを行っている中で、企業はCSR活動として幅広い地域活動に取り組んでいます。企業との協働に視点をあて、平時からの連携は、もちろんのこと、緊急時、災害時にはさらなる連携が必要との考えから以下3点について質問いたします。

- (1) 企業市民との協働について府中市の連携の考え方、取り組みについて
- (2) 鉄道沿線市、鉄道事業者との連携の考え方、取り組みについて
- (3) 市民との協働のまちづくりにおける将来像について



A 【市長答弁】 (3) について、現在の少子高齢化・成熟化が急速に進む社会において、私は、市民力が地域課題の解決に向けた大きな力となると確信し、市長就任以来一貫して、市民と行政が連携・協力して地域課題の解決を図る市民協働を、市政運営の重要なテーマとして掲げ、まちづくりに取り組んできました。

今、改めて市内の状況に目を向けますと、市民をはじめ、自治会やコミュニティ協議会、NPO・ボランティア団体や大学、さらには民間企業など、多様な主体が活発に活動されている一方、市民協働の取組に対しましては、気運は高まりつつあるものの、理念の周知から実践に向けて、更なるステップアップを図る時期に差しかかっているものと捉えています。

このような中、まちを構成する全ての人々が、対話を通じた信頼関係のもとに、「お互いの強みや得意分野を生かしながら、協力し合い、支え合える関係が築かれること」、その上で、「主役である市民がまちづくりに主体的に参加していく都市となること」が、市民との協働のまちづくりにおける目指すべき将来像であると認識しています。

【担当部長答弁】（市民協働推進本部）

(1) 民間企業については、高度で専門的な技能・知識、効果的かつ効率的なノウハウ、豊富な人材、施設等を有するなど、多くの強みを持つとともに、社会貢献活動いわゆるCSR活動などへの積極的な取組を通じて、共通する課題の解決や社会的な目的の実現に向けて、公益的な価値を相乗的に生み出していくための強力な市民協働のパートナーであると認識しています。

本市と企業との協働の取組としても、包括的な連携を始め、防災・環境、高齢者・子育て支援、市民活動、スポーツ、教育等様々な分野で全庁的に、連携・協力して事業を実施している状況です。

このことから、本市としては、今後ともあらゆる機会を捉え、様々な企業とのネットワークを広げ、対話し、相互に信頼関係を築き、また、協働の主体となる様々な市民とのコーディネートを図るなど、企業との協働を更に推進していきます。

(2) 市内には、京王線、JR南武線、武蔵野線、西武多摩川線を合わせて、14の駅が点在しており、様々な幹線や都市を繋ぐ主要な公共交通機関として、市民生活や観光などの導線となっています。

このことは、多くの人・モノ・情報の交流システムとしても大きな役割を担っているものと認識し、その一つとして、鉄道沿線市との広域的な連携もあると捉えています。

共通の都市基盤で繋がる沿線市とは、お互いの魅力や情報発信の拡大、観光や商業の振興、まちのにぎわいの創出や地域の活性化等、共に取り組むことにより、広域的で複雑な地域課題の解決や、効果的で効率的な市民サービスの向上を図ることができると想定されるものも多いため、今後とも、どのような連携が図れるか、研究していく必要があると考えています。

一方、市内に駅のある鉄道事業者とは、現在、関係課におきまして市民活動やまちづくりの分野で協働しているほか、沿線市とも観光等の分野で連携した取組を行っているところです。協働によるまちづくりの重要なパートナーとして、更に積極的に連携・協力体制を築いていくことが重要であると認識しています。



【再質問】市長からも丁寧なご答弁いただき、ありがとうございました。府中市内にも大きな企業が多くあります。観光資源の有効活用ということでは、すでにJRAと連携し、取り組みを進めていると思いますが、企業との連携、協働を進めていくために、

- 1) 企業との包括的な連携についての事例、今後の企業との包括的な連携の具体的な考え方について
- 2) 企業との連絡会や協議会などの具体的な活動内容、今後の考え方について
- 3) 観光分野で、沿線市の協働の取り組みとして京王線沿線5市の取り組みがありますが、具体的にどのような取り組みなのか

A 【担当部長答弁】（政策総務部）

1) 本市では、本年1月25日に、株式会社セブン・イレブンジャパンとの間で、企業との包括的な連携の事例としては初の取り組みとなります、「地域活性化包括連携協定」を締結しました。

当該協定に基づく具体的な連携内容ですが、市内30店舗以上のセブン・イレブンの各店舗につきまして、広報紙の配布や本市のイベント情報等のポスター掲示等にご協力いただくほか、既に各店舗のオーナー等においては、本市が実施いたします認知症サポーター養成講座を積極的に受講していただき、近隣の高齢者の異変を察知した際には、市や地域包括支援センターに連絡をしてもらうなど、高齢者の皆様が安心して暮らせるための見守り活動にご協力をいただいています。

今後についても、地産地消や市内特産品の開発、健康増進、障害者支援、災害対策、環境対策など、様々な分野において連携・協働し、地域の活性化等に向けた取組を進めます。

また、「今後の企業との包括的な連携への具体的な考え方」ですが、複雑化・多様化する市民ニーズを的確に捉え、より良いまちづくりを進めていくためには、様々なノウハウを有する企業等との連携・協働は不可欠であるとの考えで、今後も、市民サービスの向上や地域の活性化等に繋がる、企業との包括的な連携を積極的に推進していきます。

2) 企業との連携・協働を進めていくためには、協定

を締結するだけでなく、当該協定に基づき、いかに市民の利便性向上や地域活性化に向けた具体的な連携・協働事業を実施していくかが重要であると認識しています。

今回、地域活性化包括連携協定を締結した、株式会社セブン・イレブンジャパンとの間では、定期的な協議の場を設け、お互いのノウハウを生かした具体的な協働・連携事業を検討していくこととしております。

3) 京王沿線5市の連携については、平成25年度に本市の観光協会の声掛けにより各市の観光協会、(株)京王電鉄において、各市の多彩な魅力を共有し、広く観光客を誘致することを目的に、「京王線沿線観光連絡会」を構成し連携が始まりました。

具体的な取り組みとしましては、定期的に各市の見どころやイベントなどの情報交換会を通しての広域連携の研究や京王線の新宿駅等や都庁での共同観光PR、モニターツアーの実施などを行っています。

特に、今年度につきましては、広域観光ツアーとして、5市の観光スポットを巡る「京王線沿線 おもしろ玉手箱モニターツアー」と題し、各市の工場を巡る「産業観光コース」、梅の時期に合わせ花をテーマにした「花をめぐるコース」、また、外国人を対象にした神社仏閣やテーマパークなどを巡るコースなど、各市の魅力を体感できるモニターツアーを実施しており、多くの方にご参加いただいています。

また、5市の共同の観光パンフレットの作成についても現在、取り組んでいます。

意見・要望

1) 府中市では、ホットな話題で企業との協働として、株式会社セブン・イレブンジャパンとの間で、「地域活性化包括連携協定」を締結し、地域の活性化等に向けた取組を進めていくとのことで、今後の企業市民との協働、つまり企業との協働への取り組みへ向けて大きなはずみとなるものと考えています。また、様々なノウハウを有する企業等との連携・協働は不可欠であると考えておられるとのことですので、分野ごとに整理しながら、府中市の活性化のために、より多くの企業との包括連携協定をさらに積極的に推進していただくことを要望させていただきます。

2) 企業市民との協働は、いかに情報交換、情報共有の場を設けるかということが最も大切な部分であり、定期的な話し合いの場として連絡会や協議会を設置して、現状を見極めながら何をすべきかを的確に判断しながら、確実に

推進していくことをお願いいたします。

3) 5市の共同の観光パンフレットの作成についても現在、取り組んでいるとのことでしたが、もっともっと企業との連携を深め、なお一層より良い取り組みが出来ることを期待したいと思います。

また、京王線沿線だけではなく、さらなる活性化ということでは、今後、JR南武線沿線市との連携も出来ないか、検討し、具体的に進められるよう要望しておきます。

今後、市民協働ということでは、市民協働推進本部から新たに市民協働推進部に組織変更もされるとのことですから、日頃からの企業市民との協働はもちろんのこと、緊急時、災害時への対応まで含めた企業市民との協働の取り組みを力強く推進していただくことをお願いし、私の一般質問を終わります。

各委員会報告

常任委員会

◆総務委員会

平成28年度府中市競走事業会計補正予算等の付議事件8議案、府中市議会だよりの議決結果一覧の個人掲載等の陳情2件が審議された。

◆文教委員会

府中市立学校給食センター条例等の付議事件2議案、府中市立学校給食センター外構工事契約等の協議事項報告1件が審議された。

◆厚生委員会

府中市国民健康保険税条例の一部を改正する条例などの付議事件議案9件が審議された。

◆建設環境委員会

府中市工場立地法緑地面積に係る条例改正など付

議事件5議案、陳情1件と協議事項報告1件が審議された。また、市民相談として受けていた陳情の高層マンション建設に関する事項についてが採択された。

特別委員会

◆基地等跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況、府中基地跡地留保地の状況等が報告、審議され、付議事件1件が了承された。

◆再開発対策特別委員会

再開発対策の府中駅南口第一地区再開発ビルの状況等が報告、審議された。

◆市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設の敷地拡張進捗状況や設計に関する状況等が報告され審議した。

地域活動等

1. 昨年、一般質問した自転車ナビマークが府中街道など都道および甲州街道など国道にも順次設置が開始されます。安全・安心のまちづくりの一環としての役目を果たしています。
2. 肢体不自由児者父母の会への寄附のための(府)内チャリティ自動販売機の設置が決定しました。
3. 障がい者の工場実習受け入れなど多くの市民相談を受けました。
4. 分倍河原駅南ロータリー東側道路の街路灯が消えているという市民情報があり、確認したところ電球切れしていたことから担当部署に連絡し、対応していただきました。



自転車ナビマークとは?

自転車が行きやすい部分と進行すべき方向を路面に表示した法定外表示です。

自動車ドライバーには自転車の車道通行に十分留意して走行することと自転車利用者には車道では左側通行することを促しています。

府中市議会議員 清水 勝 プロフィール



1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ
1983年 山梨県立甲府工業高校卒/㈱東芝府中工場入社/コンピュータ製造・試験・工程管理
1994年～2015年
◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・電機東京役員/◆府中市各種審議会委員 等を歴任
2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)
◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問
◆市議会
2015年度 建設環境委員会副委員長
2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長②/議会報編集委員会委員②/府中市交通安全対策審議会委員②/府中市総合計画審議会委員/三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会委員(道路)②



■清水勝HP



■Facebook

■清水勝ホームページ
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>
■Facebook
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com